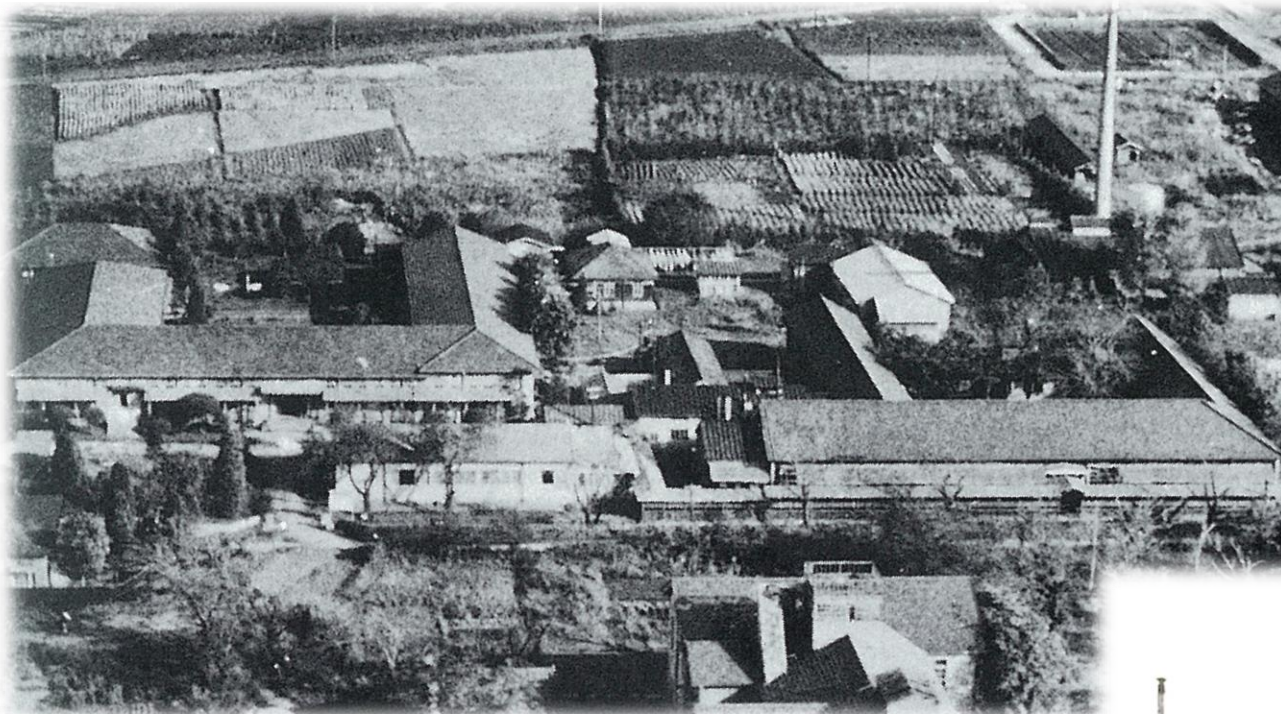


東京医科大学茨城医療センター の歩み Since1949



制作：学校法人東京医科大学 総務部 広報・社会連携推進課



東京医科大学は、東京新宿の地で大正5年に創立、西新宿の大学病院について2つ目の附属病院として、昭和24年、茨城県阿見町に「霞ヶ浦病院」を開設した。その敷地は海軍霞ヶ浦航空隊医務室の跡地にあたる。

正門

霞ヶ浦病院全景

大学昇格に伴うGHQ
ジョンソン准将の視察
と当時の職員



開院当時の霞ヶ浦病院(昭和24年)



外来診療棟竣工(昭和43年3月)

従来の木造の医務室に代わって鉄筋コンクリート造の外来診療棟が竣工、20周年を迎えたのを機会に、その記念式典と落成式が挙行された。

20周年記念式典および
診療棟落成式典(昭和43年5月)



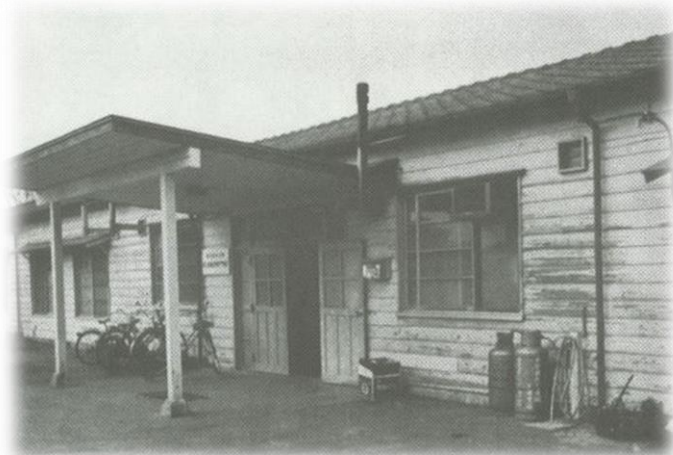
外来診療棟竣工・20周年記念式典(昭和43年)



霞ヶ浦高等看護学校開校祝賀式・第1回入学式（昭和50年4月）

昭和53年4月

「霞ヶ浦高等看護学校」が「霞ヶ浦看護専門学校」に改称された。

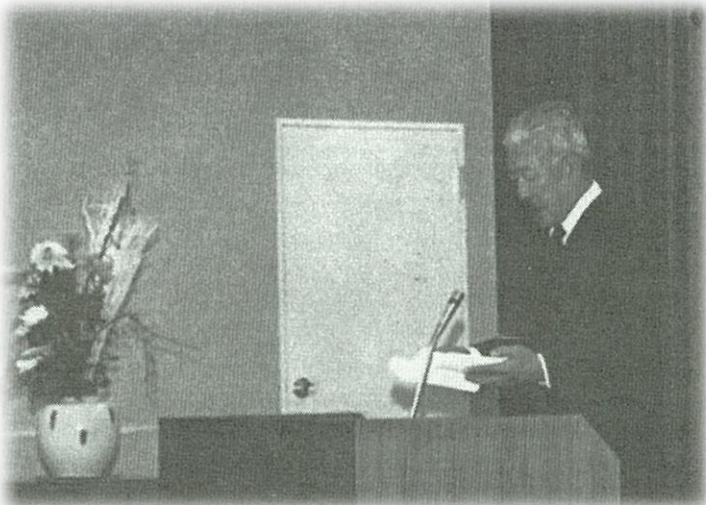


旧校舎（昭和50年4月～昭和60年2月）

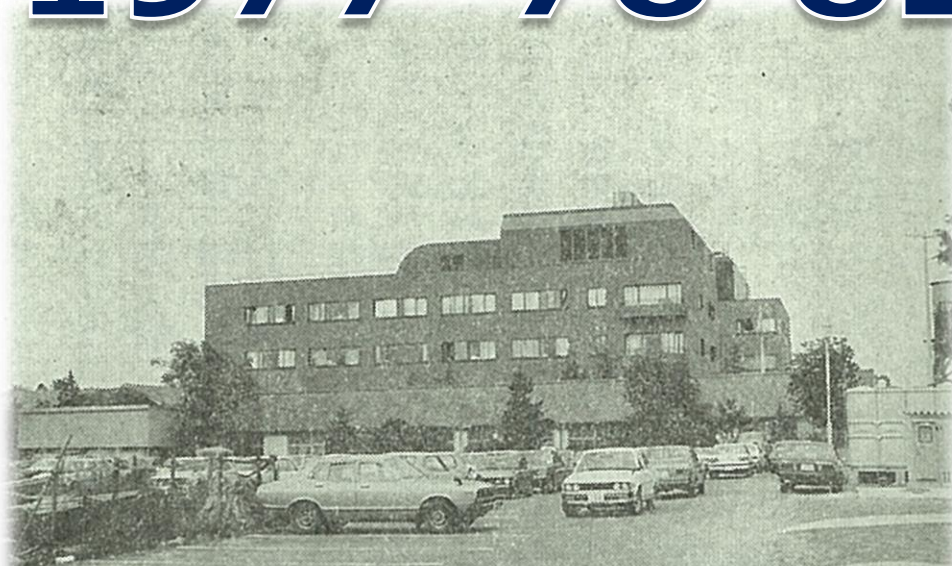


現校舎（昭和60年3月竣工）

霞ヶ浦高等看護学校 開校（昭和50年4月）



30周年記念式典（昭和53年11月1日）



臓器別病棟（現南病棟）（昭和52年5月竣工）



高橋記念館（昭和57年7月落成）

◆◆◆ 高橋記念館今昔物語 ◆◆◆

東京医科大学の建学にあたり、全私財を投じて尽力された高橋琢也学祖。昭和8年、借住居にいた学祖に、同窓会を中心とする母校後援会より、米寿の祝として住宅を寄贈しようとしたが学祖はこれを辞退。その代わりに、西新宿の大学病院敷地内に理事長住宅として木造平屋造りの建物を呈上したが、学祖の死後、大学側に返戻されたため、この建物は「高橋記念館」として、学生や教職員の憩いの場として使用された。

昭和57年、現在の大学病院建設の際に立退きを余儀なくされた高橋記念館だが、その一部は霞ヶ浦病院の敷地内に移築された。現在は、院内保育施設として活用されている。

平成8年

平成9年



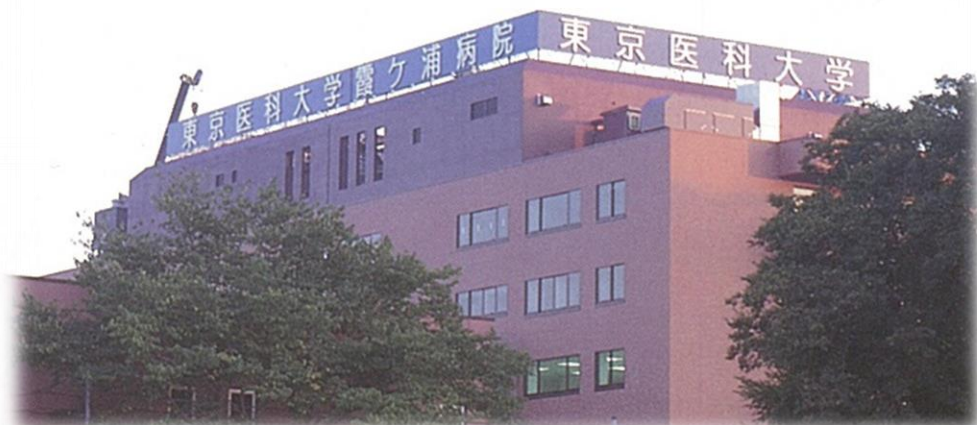
◆◆◆ まい・あみ・まつり ◆◆◆

国の「ふるさと創生事業」の一環として企画され、平成2年から開催されている『まい・あみ・まつり』。阿見町在住・在勤・在学者の有志によって組織される実行委員会によって企画運営されている。町民主導の真夏の祭典として広く町民に親しまれている。

東京医大は、平成2年から約10年間、みこし行列に参加していた。



建設中の
新病棟（東館）



新病棟（東館）近景



外来本館と
新病棟（東館）
を望む

新病棟（東館）落成（平成9年）



平成21年4月
「霞ヶ浦病院」は、60周年の記念に
「茨城医療センター」に改称され、今日に至る。

60周年記念式典（平成21年4月）

2016年、創立100周年を迎えた東京医科大学。茨城医療センターは、2019年に70周年を迎える。



現在の茨城医療センター（平成27年）